

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

4月下旬、安曇野市豊科近代美術館で初日を迎えた春の特別展「郷津雅夫展」をオープン直後に鑑賞したいと出掛ける。元白馬中学校美術教員の故石沢

清さんが認めていた世界的に活躍している地元出身アーティストだ。実際の作品を鑑賞できずにいたが、今回多くの作品を展示した企画展は、最後の機会になるかもしれないの想いが鑑賞をより意義深いものにした。

美術館学芸員に幾つかの質問をしたところ、郷津さん本人にお聞きくださいとの予想もしなかったうれしい回答。オープンイベント準備の忙しい中、話をすることができた。「高校まで白馬で過ごした経験が作風にとどのような影響を与えているのか」との問いには、「澄み切った空気感の

中で見上げる山岳美感  
は、妥協を許さない思いを育む事ができた。今でも雪の白の表現は心が魅かれる」と郷土の美観をたたえてくれる。芸術に疎い私の質問にも、優しい笑顔で

るのでぜひ鑑賞してほしい。そして私達の暮らす地域から、世界で評価され続けているアーティストがいる事を、語り継いでほしい。芸術は昔手と言っ方に鑑賞方法のアドバイ

だ。25歳からアメリカニューヨークを拠点に活動する郷津さん。「なぜ日本ではなくアメリカでの質問に、答えの断片から異邦人としての意識の強い事が伝わってくる。アメ

## 地元出身の世界的アーティスト「郷津雅夫」の作品を知って地域の価値観を高めよう

説明を続け、より理解をしてほしいと会場内の作品を案内する郷津さんに親近感を強く持つことができた。この貴重な機会に出身地の白馬の皆さんをはじめ大勢の皆さんに、6月3日まで開催されてい

ス。テーマ毎に作品が展示されている。各会場入り口に、テーマの解説が掲示されています。先に読まれてからの鑑賞をお勧めしたい。多くの作品が写真と言っよりも、写真的立体感を感じる作品

リカは移民大国だ。生活様式の異なる人々がつくり上げたアメリカ。代表的な「窓」作品群。窓枠のレンガを積み上げたのも異邦人、窓から見えるアメリカは、窓の内側、外側の生活が対比して見

えてくる。そして窓辺に座る人も店の名も、時の流れとともに変わってゆき、やがて誰もいなくなり売りに出されるストーリー。時の流れを強く感ずる感動的な作品群に、単なる場面を写すのではなく、アメリカ社会を見

続ける大切な想いが伝わってくる。これからも世界で活躍する郷津さんに注目していきたいと会場を後にした。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)



世界で活躍する郷津さんの作品から、平穏な日常がいかに貴重か考えさせられる